

■2007年の金融商品取引法の施行を機に、実父が創設したベンチャーキャピタルのエス・アイ・ピーの経営に参加し、08年に社長に就く。

金商法で取引ルールが厳格になつたり透明性がより求められたりするようになり、小さな会社でやつていいくのは難しいと感じました。そこで、父の斎藤篤が1996年に立ち上げた会社にファンドを移し、ベンチャーキャピタリストとして再スタートを切りました。

常に将来性のある事業を探し、投資しなければなりません。これまでの20年がインターネットの時代だったとすれば、これから20年はライフサイエンスの時代だと考えています。今後の成長分野は何か。大きな時代の変化を思索する時には留

## ライフサイエンスが舞台

学先だった米マサチューセッツ工科大学（MIT）のイノベーションの授業を思い出します。

アジアのベンチャー企業への投資も積極的に考えていました。海外の企業や人々とのビジネスをして思うのはやりやすさです。シンガポールに行つて話をするとします。きちんと説明すると「あなたのビジネスモデルは素晴らしい」などと言わ

3年ほど前、母校の開成高校の生徒が米国の大

学生に直接進学するのを応援するボランティア組織「グローバル開成会」を立ち上げたOBと立ち上げました。これまでに10人ぐらいたいがハーバード大学やイェール大学などに入りました。若いうちに海外で経験を積むことはこれではないでしょうか。このからの日本に非常に大切

説明させられた揚げ句に財務状況を聞かれたりして先に進まないことがいくらでもあります。

日本でもMBAホルダーが相手だと話が早い。

MBAを取ることは世界のビジネスルールのスタンダードを身につけることだと思います。

結局、私の関心はずつとインベーションにある